

絵はがきと切手 授業づくり

- 10分 自己紹介 黒板に名前。私の名前を読ませる。クイズをしてリラックス。

0分 導入（自己評価活動1）

* ラポートは導入の10分で作る。

友達に親切にしたこと、優しくしたことを教えてくれる？ 例えば、消しゴムを貸してあげたとか、けがをした友達を保健室に連れて行ってあげたとか・・・はい、君。

*物を貸してあげる。（物がいろいろ変わるけどたくさん出るでしょう）

*泣いている友達に優しい声をかける。なぐさめる。

*保健室に連れて行く。

「親切」＝「相手がうれしくなる、元気になることをする」

価値の一般的な捉え、これに気付くことが大前提）

と板書。まとめる。

「できているかどうか」手をあげさせるか、プリントの隅に、
を書かせる。または、空中に書かせる。（空中がいいかな？）

自己評価活動1 今までの自分を今までのものさしで評価する。

4分 この資料ならではの事前説明（時間がもったいないけど仕方ない）

親切や友達への優しさについて、もう少し考えを深めるために、今日学習しましょう。読み物資料をもってきたので、これを使ってやるよ。読み物の題は「絵はがきと切手」です。（短冊添付）

読む前に、絵はがきや切手について少し話しておきましょう。

官製はがき

はがきを知っていますか？（官製はがき実物提示）

50円切手

切手を貼って、出しますね。普通のこのはがきの場合は、いくらの切手を貼れば届くか知っていますか？

そうです。50円ですね。年賀状を出したことがある人もいるでしょう。あのはがきと切手です。はがきと切手が初めから一緒になっているものもあって、改めて50円切手を貼らなくてもいいものもありま

定形外郵便
(はがき)
大きな絵は
がき

す。これは、初めから一緒になっているはがきですね。50円出せば、日本国中どこにでも届きます。隣の町でも50円、沖縄でも50円です。

ところで、はがきははがきでも、大きさが違うはがきの場合は、50円では届かないはがきもあります。普通のはがきよりも大きなはがきです。その場合は、130円切手を貼らないといけないんですよ。急に値段が上がりますね。たとえば、こんなはがきです。これは、絵はがきと言って、裏は写真がついていて、きれいです。旅行先などから送ることが多いですね。

では、もしね、そのはがきに貼らなければならない切手を貼り忘れて、金額が足りなかったりしたら、どうなると思いますか？たとえば、この普通の大きさのはがきを出すときに、50円切手を貼り忘れたとか、この大きな絵はがきは130円貼らないといけないのに、普通のはがきと同じ50円を貼って出したりしたら・・・

書いた人に戻されるのではないか？と思う人もいるでしょうが、実は違うんです。普通に届けられるのです。でも、受取人が足りない金額を払わなければならないのです。びっくりでしょう？もし「はらわない」と言ったら、どうなるのかな？

そんな仕組みを知っていて読むとよくわかる資料を今から読みますね。

8分 資料提示(プリントを配って、読む。場面絵と短冊を貼る。)

「絵はがきと切手」を読む。場面絵を添付したり、キーセンテンスの書かれた短冊を貼りながら、大切なところは繰り返して読む。(「なつかしく思い出していました」のところまで資料提示。続きはカット)

兄と母の主張点を端的にまとめて、対立的に板書する。

12分 展開1(自分の価値観を) 発問候補1

ひろこは、兄と母の話を聞いた後、迷ってしまった。部屋で机に向か

ってどんなことを考えているだろうか。

発問候補 2

あなたがひろ子なら、足りなかったことを書きますか？書きませんか？そして、それはなぜですか？

【返事の手紙を書くときに】

料金不足のことを教えてあげる。(下線部分は、黄色で板書)

なぜなら

相手がだれであっても、きまりなのだから教えてあげる

料金不足は、差出人が払うことになっているのだから、教える。

正子が、後で知ったら嫌な思いになるから教える。

同じ被害に遭う人がこれからたくさん出てきたら困るから教える。

同じ被害に遭う人がこれからたくさん出てきたら正子がその人達に悪く思われるから教える。

親友だからこそ教えてあげる。(理由は にほぼ同じ)

料金不足のことを教えなくていい。(下線部分は、黄色で板書)

なぜなら

せっかく絵はがきを送ってくれたのだから、足りない料金くらい、受け手の自分が払ってもいい。親友だろうと知らない人だろうと、受け手が払ってもいいから教えない。

80円くらいなら安いから、教えない。

せっかく絵はがきを送ってくれたのに、料金不足だと言ったら、気分を悪くするに違いないから教えない。(相手のことを考えると何となく教える気にならない。理由は不明瞭なパターン)

自分が嫌われるかも知れないから教えない。

親友なのだから、これくらいのこと言わないで置く方がいい。(親しい達でなければ、料金不足のことを言うかもしれないってこと)

32分 展開 2 (自分の価値観を深める) 発問候補 1

いろいろな考えが出てきたのだけど、これらのことで一番大切なことはどんなことかなあ。

どの考えのベースにもなるような一段高い、あるいは、どれも支える基

盤となる考えを出させたい。(発問はイマイチ)

相手の立場に立って、相手に最もいいことをすることが一番大切。
言われたら嫌な気持ちになるかも知れない、とか、自分も言うのがつらいなどの気持ちはわかるけれども、相手のことを一番に考えてしたことなら、どれも間違いではない、素晴らしい行動だと思う、とまとめる。

発問候補 2

正子さんの立場、(相手の立場)に立ったら、どちらがいいでしょうか。そして、それはなぜでしょうか？

40分 終末(自己評価活動2)

今、まとめたのは、「相手のことを考えて行ったのであれば、相手に優しいことであっても、相手に少しつらいことであっても、よい行動である」ということでした。特に、中学年になったみなさんは、「相手には少しいやなこと、つらいこと、厳しいことでも、勇気をもって、相手の立場に立って、注意、忠告したりすることも大切である。」ということを学んだと思います。

では、こちらの初めの板書に戻りましょう。たくさんの親切ややさしい行動が書かれています。

「相手には少しいやなこと、つらいこと、厳しいことでも、勇気をもって、相手の立場に立って、注意、忠告したこと」がありますか。新しい価値観から、自分を再度見つめてみましょう。